

まず、教職員の皆様に本当にありがとうございましたと感謝をお伝えしたいです。指導教諭、クラス担任の先生だけではなく本当にたくさんの先生方にご教授いただきました。ありがとうございました。

実習をふり返って、本当に学ぶことがたくさんありました。3週間前は先生という意識さえ低かったと今は痛感します。生徒にしっかり指示を出せるようになったのも2週目頃からでした。未熟さを感じました。共に教師という立場を自覚することもできました。

教壇実習をして、1つの授業を作ることの大変さを感じました。授業を行うまでの指導案の作成、板書計画、ワークシート作り、実験方法の検討、実験準備など、50分の授業のために本当に多くの時間を費やし、良い授業を作り上げる工夫をしました。授業を行ってみて感じたことは、まず授業の流れが本当に大切だということです。私は主に実験の授業をしていたのですが、その実験の目的・意義をしっかりと伝えるために流れをしっかりと構成する必要があることを学びました。後は基本的なことではありますが、タイムマネジメントや板書（書き方、字の見やすさ、大きさ）、そして何より声の大きさ、聞きとりやすさも非常に重要でした。初めての教壇実習では、自分のことで精一杯になってしまい、生徒の反応を待たずに、授業だけ次々と進めてしまい、後でご教授いただき深く反省しました。一番必要な、生徒のことを考えるということが完全に抜けてしまっていたことが自分の中で最もショックでしたが、それ以来の授業では一番意識することができるようになったと思います。最後の研究授業では、自分の考えていた流れ通りには授業を進めることはできたのですが、ご指導いただくと、自分の考えていた授業展開では目的がうまく伝わっていなかったり、実験をする上で少しおもしろさに欠けてしまう部分があったりと、自分では気づくことができなかった反省点がたくさんありました。教科指導力の未熟さが表れてしまいました。研究授業に向けては、遅くまで残って授業展開や板書の練習、模擬授業を行い、納得のいく形で授業を迎えましたが、それでももっと修正すべき点や改善すべき点があったと思うと本当に大変だと思いました。1つの授業を作り上げるために、準備はやってやりすぎなことはないことを学びました。それだけ教材研究は必要で大切だと実感することができました。ただ、声の大きさや話し方、生徒との接し方、板書などの基本的なところはお褒めの言葉をいただくことができ、3週間前と比べると少しは成長することができたと感じるすることができました。

3週間の実習期間中、先生方は本当に毎日忙しそうにしていらっしゃるって、教師という仕事は本当に大変な職業だと改めて感じました。自分自身も毎日が目まぐるしく過ぎてゆき、あっという間の3週間でした。それほど充実しており、大変な日々でしたが、その分嬉しいことや楽しいこともたくさんありました。クラスでは毎朝の朝礼と終礼、給食、掃除を担当させていただき、その中でももちろん学ぶことはたくさんありましたし、また生徒たちと近い距離で接することができ、本当に楽しいと感じることのできる日々でした。クラスの生徒たち、そして先生には本当に感謝でいっぱいです。

また、実験準備などがなく、時間がある日はいつも部活動に参加しました。日曜の練習試合にも行かせていただいたり、練習メニューと一緒に参加したり、積極的に足を運びました。普段、学校では見ることのできない生徒の姿を見ることができる貴重な時間でし

た。また生徒との距離を近づけることもできました。

この 3 週間は本当に私にとって貴重な財産となる日々でした。毎日本当に楽しくて、教職の授業をとって来て良かったと思える期間でした。先生はいい仕事だなあと実感することができました。ありがとうございました。